

週刊 京都民報

2021年 9月号外

総選挙特集

（株）京都民報社 発行所 〒604-0003 京都市中京区衣通通夷川上ル吉田ビル ☎075(256)0901 / ☎075(223)2033 ✉kyoto-minpo@nifty.com 京都民報Web www.kyoto-minpo.net

総選挙で勝利し、新しい政治を実現しようとする決意を固め合う（左から）社民・福島、共産・志位、立憲・枝野、れいわ・山本の各党首（11月8日、参院議員会館）



コロナ禍で苦しむ国民の怒りの声に追い詰められ、菅義偉首相が政権を投げ出しました。日本共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新選組の野党4党と「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は8日、目前に迫る総選挙で自公政権を倒し、命を守る新しい政権の実現を目指す野党共通政策（別掲）に合意。共産・志位和夫委員長、立民・枝野幸男代表、社民・福島瑞穂党首、れいわ・山本太郎代表が共通政策の提言書に署名しました。総選挙で日本共産党を含む野党各党が野党第1党を含めて共通政策を結び、政権交代をめざす。

4野党が共通政策

命を守る政権をつくる

す初めてのたたかいはなります。

提言書では、野党各党に共通政策を「実行する政権の実現をめざすこと」を求めると明記。志位委員長は、「市民と野党の総選挙をたたかう共通の政策的旗印が立派に立った。総選挙は9年間に及ぶ安倍・菅自公政治に対する総決算、チェンジの審判を下す選挙。提言にはそのチェンジの重要な政策がしっかり盛り込まれている」と強調しました。

命を守る新しい政権への政策的「旗印」が示されたことに、府内の幅広い市民から期待と歓迎の声が寄せられています。

野党共通政策の提言

1 憲法に基づく政治の回復

・安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する。
・平和憲法の精神に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。

・核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザー

2 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化

・従来の医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める。
・医療従事者をはじめ

3 格差と貧困を是正する

・最低賃金の引き上げや非正規雇用・フリーランスの処遇改善により、ワーキングプアをなくす。
・誰もが人間らしい生活を送れるよう、住宅、教育、医療、保育、介

4 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行

・再生可能エネルギー

5 ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現

・ジェンダー、人種、年

6 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する

・森友・加計問題、桜を見る会疑惑など、安倍、菅政権の下で起きた権力私物化の疑惑について、真相究明を行う。

・日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命する。
・内閣人事局のあり方を見直し、公正な公務員人事を確立する。



寺島美羽さん
Fridays For Future Kyoto 代表

政府が2030年までに温室効果ガスの削減目標を46%（13年比）としたことに落胆しました。50年にCO2ゼロと言われても中身も重みもない。このままでは私たち若者の未来は守れない。

若者の未来を守るために

京都市の環境審議会の地球温暖化対策推進委員会の委員に入り、6日に開かれた令和3年度第1回会議で発言しました。京都市のCO2削減目標は国よりも低い「40%以上」（13

た、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第六次評価報告書にて、人間活動が地球温暖化の原因であることに疑う余地がないことが明らかになりました。異常気象、それに伴う自然災害が深刻化

する中、思い切った行動が今までもりもずくと緊急性を増しているのです。
野党の共通政策に地球環境問題が入ったのは歓迎ですが、数値目標がないのが残念。共産党がだした「2030戦略」ではCO250%削減、脱炭素、省エネ・再エネをすすめる社会システムの



立憲野党で政権交代を

京都1区市民連合呼びかけ人、アジェンダプロジェクト 藤井悦子さん

京都の市民連合「ユナイテッド」の賛

同人を中心に京都1区市民連合を立ち上げ、「立憲野党で政権交代」を訴え、日本共産党の殺田恵二衆院議員・京都1区予定候補を招いたオンライン・タウンミーティング等を開催してきました。
菅政権は、モリ・カケ・サクラなどの疑惑には嘘をつき続け、コロナ対策に全力を尽くすべき時に五輪を強行し、感染爆発を招きました。市民の怒りで辞任に追い込まれたのだと思います。
総選挙が近づくと、市民連合が野党と共通政策で合意しました。早く立憲野党で候補者を一本化し、1区で勝利したいと思っています。野党への政策アンケート

トの結果、現在、政策的に応援できる野党の中で、1区の候補者は殺田さんだけです。タウンミーティングでは、殺田さんは参加者の質問に真摯に答えられ、安保法制の廃止をはじめ政策も一致点が多く、本当に良い集いになりました。
コロナ禍や社会の変化を考えると、一人ひとりの生活を保障する制度を作ることが大事だと痛感しています。社会保障制度を維持・拡充しつつ、定期的給付金を配るなど、手厚い生活保障制度が必要です。野党連合政権実現へ、無党派層への呼びかけを強め、支持政党の枠を超えた選挙に取り組みたいですね。

歴史的総選挙どうたたかう

日本共産党京都府委員会 渡辺 和俊 委員長に聞く



渡辺和俊委員長

市民と野党の共闘で政権交代を目指す歴史的総選挙が目前です。4野党と「市民連合」が共通政策で合意(8日)し、新しい政治への「旗印」が示されたことで、どう選挙戦をたたかうのか。「本気の共闘」への課題や京都での選挙協力の現状などについて、日本共産党京都府委員会の渡辺和俊委員長に聞きました。

暮らしはよくなる

「市民連合」の呼びかけで4野党の共通政策が合意されましたね

共通政策は、6つの柱・20項目から成っています(1面参照)。「安保法制や秘密保護法、共謀罪など違憲立法廃止」「消費税減税」「核兵器禁止条約批准」「沖繩の辺野古新基地建設中止」「原発のない脱炭素社会」「選択的夫婦別姓制度」「森友・加計・桜疑惑徹底究明」「日本学術会議会員の推薦通りの任命」など、野党連合政権をつくれば、暮らしはよくなる。政治は変わる」と訴えるこ



とができます。ワクワク

政権交代へ「市民と野党の共闘」に力強く踏み出す時

クしますね。同時に、自民党はいよいよ共産党が政権取りに乗り出す。なんとしても阻止しなければ(京都6区候補)と危機感をあらわにしています。激しい選挙になるでしょう。

「選挙協力」と「政権協力」

こうしたことで、野党共闘は今後どう進みますか

「実行する政権を目指す」と合意

政策の面で「与党十補完勢力」VS「市民十野党」の二極対決の構図が鮮明になりました。同時に今回、この政策を「実行する政権の

野党の「本気度」が伝わるには、「選挙協力」と「政権協力」が欠かせませんね

その通りです。465の衆院定数のうち289は小選挙区選出です。前回2017年総選挙で自民党は、33%の得票率(比例)なのに、281議席、つまり60%の議席を占有した。まさに「小選挙区マジック」です。

逆を言えば、一定の規模の小選挙区で野党が小選挙区候補を一本化すれば、自・公に打ち

京都でも政党間協議を

京都府委員会は、昨年6月18日に、現職の1区・穀田恵二衆院議員に加えて、2区・地坂拓晃、4区・吉田幸一、5区・山内健の4

人の候補者を決め、「3区・6区は検討中」と発表しました。その際、「他の野党のみなさんに、1区では穀田議員を野党統一候補とすることを強く求める」とともに、「1区をはじめ野党間の選挙

野党の協力を広げて総選挙で勝利し、新しい政治を実現しよう」と共通政策に合意した市民連合と野党各党首

＝8日、参院議員会館(しんぶん赤旗提供)

かに行い、政権協力、選挙協力について前向きな合意をつくりあげ、本気の共闘の体制をつくるために力をつくす」と表明しました。

勝ち、野党が過半数を獲得する可能性が出てきます。この「選挙協力」には、政党間協議が必要

「政権協力」については「閣内協力」だけではなく「閣外協力」も

「小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

京都では必ず全小選挙区で候補者を立ててきたので、その気持ちはよくわかります。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

共闘への本気度の証

3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

単独政権ではなく、統一戦線の力で議会の多数を獲得して連合政権を目指す。これが、わが党綱領の一貫した方針です。共産党が一翼を担う野党共闘が現実課題となった今、「京都だけは例外」というわけにはいきません。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

しかし、4野党の政策合意という新しい局面のもとで、市民連合「ユニタクトきょうと」からも「次期衆議院選挙における立憲野党の選挙協力の要請」(7日)も届いており、京都でも政党間協議を開始できよう、いっそう努力します。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

単独政権ではなく、統一戦線の力で議会の多数を獲得して連合政権を目指す。これが、わが党綱領の一貫した方針です。共産党が一翼を担う野党共闘が現実課題となった今、「京都だけは例外」というわけにはいきません。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

しかし、4野党の政策合意という新しい局面のもとで、市民連合「ユニタクトきょうと」からも「次期衆議院選挙における立憲野党の選挙協力の要請」(7日)も届いており、京都でも政党間協議を開始できよう、いっそう努力します。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

単独政権ではなく、統一戦線の力で議会の多数を獲得して連合政権を目指す。これが、わが党綱領の一貫した方針です。共産党が一翼を担う野党共闘が現実課題となった今、「京都だけは例外」というわけにはいきません。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

しかし、4野党の政策合意という新しい局面のもとで、市民連合「ユニタクトきょうと」からも「次期衆議院選挙における立憲野党の選挙協力の要請」(7日)も届いており、京都でも政党間協議を開始できよう、いっそう努力します。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

単独政権ではなく、統一戦線の力で議会の多数を獲得して連合政権を目指す。これが、わが党綱領の一貫した方針です。共産党が一翼を担う野党共闘が現実課題となった今、「京都だけは例外」というわけにはいきません。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

1区穀田勝利必ず

比例躍進とともに、今度、小選挙区の1区で穀田さんを勝たせたいですね

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

しかし、4野党の政策合意という新しい局面のもとで、市民連合「ユニタクトきょうと」からも「次期衆議院選挙における立憲野党の選挙協力の要請」(7日)も届いており、京都でも政党間協議を開始できよう、いっそう努力します。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

単独政権ではなく、統一戦線の力で議会の多数を獲得して連合政権を目指す。これが、わが党綱領の一貫した方針です。共産党が一翼を担う野党共闘が現実課題となった今、「京都だけは例外」というわけにはいきません。

「3区や6区では、小選挙区候補がいよいよ」との意見もあり

「現時点では申し入れに心づくことには至らない(泉健太郎副会長)と述べ、今日に至っています。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。

その後、学術会議会員任命拒否など強権を振るう菅内閣のもとで、多くの府民から「京都でも野党共闘を」の声が上がり、私たちは、11月4日、立憲民主党京都府連に、政党間協議を申し入れました。